

平城京天平祭・春2017

子どもも大人も楽しめる『ものづくり広場』

辻本 信一

ゴールデンウィークを迎えるこの時期、奈良で恒例となった平城宮跡での平城京天平祭に、今年にはならやま活動日の木曜日を除く5月3日(水)と5月5日(金)の2日間に限り、「たくさん子どもたちや大人の方に、ものづくりの大切さ・楽しさを体験していただき、学び、思いっきり遊んでもらう」というイベント趣旨に賛同し、『ものづくり広場』での出展に参加いたしました。

今回の『ものづくり広場』の場所は、第一次朝堂院前に移り、北に大極殿、東に若草山を望むお客様を迎えるのに絶好の場所となり、私たちもその一角に小間を構えました。 **【絶好のイベント日和】**



スタッフとして参加された方は、5月3日が13名、5日は14名で延べ27名。それ以外にもたくさんの方々が、お客様としても私たちの小間を訪れてくれました。

出し物は、ドングリの殻斗、松ぼっくりの鱗片など自然のものを使った「クマのペンダント」、ならやまの竹を材料にした「ブンブンゴマ」、更には珍しくなったジュズダマの実を使った「ジュズダマブレスレット」の3点。お客様にはこれら3点全ての工作を楽しんでいただき、自分だけのオリジナル作品を持ち帰っていただきました。



【仲良く一列になって】



【天平衣装の子供達】

可愛い子供さんを中心に「お孫さんへのお土産に」と頑張るおばあちゃんやお友達、たくさんの方がそれぞれの思いで、「ものづくり」を楽しまれました。3日、5日ともお天気に恵まれイベント会場への客足も良く、会場全体は大盛況。



【客足も良く】

【せんとくん登場】

私たちの小間は、出し物の可愛さプラスお値段の割安感もあり連日の大入り。昼食時間に少し空きができた以外は、午前10時の開始からチケット販売終了の午後4時過ぎまで、お客様の席は常にふさがったまま。時にはスタッフ全員がお客様に席を譲り、立たざるを得ない状況となりました。

そんな努力の甲斐もあり、初日は115セット(クマのペンダント、ブンブンゴマ、ジュズダマブレスレット3点で1セット)、2日目は131セット、合計246セットが売れました。

初日は予想以上の客足に、お客様の誘導では多少の混乱を生じましたが、2日目にはそれに対応して机配置も変更、お客さんの流れも一段とスムーズになり、スタッフの工作指導の慣れ、手際の良さも相まって、売り上げ数字を更に押し上げました。「ブンブンゴマ」を仕上げた子どもたちは、お店の前で実技指導を受け、それがまた子どもたちの目にとまり、新たなお客様を呼び込むという好循環。



【ブンブンゴマ指導】

【お疲れ様でした】

こうして私たちの小間の周りは、終日子どもたちの満足そうな笑顔が溢れ、参加者一同も大満足。準備を含めイベントに参加いただいた皆様にご心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

